

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 2 月 20 日作成)

委員会名	ノーマライゼーション環境小委員会	主 査 名：高橋儀平
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会	委員長名：服部岬生
設 置 期 間	2000 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	急激に進む少子高齢社会において、本小委員会は 1996 年度全ての国民が等しく社会生活を享受するための生活環境、住宅、公共的施設等を総合的、かつ体系的に研究するために設置された。2003 年 4 月～2004 年 3 月においては、小委員会定例会における研究会活動を中心に、6 月の公開研究会、9 月の秋季大会時の見学会・研究会、10 月の海外研究者との交流会、2 月の公開研究会を行うこととした。また、他学会が主催する事業にも積極的に参加し、随時情報交流を行うこととした。	
委員構成 (委員名(所属))	高橋儀平、佐藤克志、井上由起子、足立啓、川内美彦、水村容子、石川弥栄子、浅沼由紀、長島一道、鈴木義弘、佐伯博章、志田弘二、寺島薫、北川博巳、斉藤芳徳	
設置 WG (WG 名：目的)	若手WG：関連する各建築学会内小委員会との連携を図るために、若手研究者主体による情報交流、	
2003 年度予算	円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 5 月より 2 ヶ月に 1 回小委員会を開催してきた。また、6 月 21 日(40 名)、9 月 4 日(30 名)、10 月 27 日(60 名)、2004 年 2 月 27 日(未定)に研究会を開催した。参加者数も予定通りであった。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 6 / 21 の研究会では堺市のビッグアイを会場として、田中直人、川内美彦、佐藤克志、高橋儀平らが報告し、改正ハートビル法と市民参加をテーマとした議論を行い、多くの知見を得た。9 / 4 には建築学会秋季大会にあわせて、ゴジカラ村(ケアハウス、グループホーム、高齢者集合住宅)での見学会、中部国際空港のコンサルタントとして活躍している AJU のスタッフによる研究会を開催し、他の小委員会からも多数の方が参加され、盛会に終わった。10 / 27 には元ストックホルム工科大学教授スベン・ティーベイ氏を招き研究会を開催し、ヨーロッパにおけるユニバーサルデザインの現状について最新の情報を得た。2 / 27 は当事者の主権と利用者参画の計画、デザインをめぐって、DPI 日本議長の中西正司、市民運動家として活躍している秦靖枝さんをお招きし、討議を行う予定である。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 2003 年度の当初活動計画に対する目標達成度はほぼ 100%であったが、2 ヶ月に 1 回の小委員会活動は常時 6 ~ 10 名程度の参加であり、全員参加の小委員会は実現しなかった。
その他評価すべき事項	特になし